



# 立志の道2

2020.9.23 No.13

発行責任者

校長 小池 雅美

甲陵中・高への通学者が近道として利用する立志の道。校訓「立志躬行」の実現への道のりを、中学校の教育活動の様子を通して、随時お伝えしていきます。

## 生徒会祭でリフレッシュ！皆で楽しみました。

コロナウイルス感染防止に関わって、行事など影響を受けているところですが、中学校独自の生徒会行事である「生徒会祭」が、9月18日に行われました。曇り空で過ごしやすく、体を動かすにはちょうど良い日になりました。制限がいろいろとある中ですが、生徒会役員が感染予防に気をつけながら考えた競技を皆で楽しみました。

種目は、体育館での「キングサイズバレー」、グラウンドでの「障害物競走」「玉入れ」「台風の目」でした。どの種目も密にならないようにルールが考えられていました。生徒会本部は、事前に競技を試したりしながら、しっかり準備をしてくれました。このような行事は、企画や準備が大変なものですが、しっかりできていたおかげで、当日みんなで楽しめる行事になったと思います。生徒会本部の皆さん、本当にありがとうございました！

たくさんの笑顔が見られた日になりましたが、その様子を見てみると、やはり学校生活にはメリハリが大切なのだと感じます。体を動かすことの心地よさや、互いを思いやる心や連帯感は、このようなことから培われます。オンライン学習のみではこのようなことは学べません。休校中のことを考えると、本当に良かったと思います。今後も感染予防には十分注意しながら、様々な活動を少しずつ行っていきたいと思います。



## 未来の科学者訪問セミナー 9月14日



9月14日、全校生徒を対象に「未来の科学者訪問セミナー」がミューズホールにて開かれました。これは、小中高校生に科学の不思議や発見の喜びなど、青少年の科学する心を育むことを目的に、県企画課から事業委託された「山梨科学アカデミー」が主催するものです。実施校に応募したところ、この日のセミナーが実現しました。この日の講演内容は、山梨大学名誉教授・清弘智昭（きよひろのりあき）先生を講師に迎えた「ロボット工学」のお話でした。そもそも何を「ロボット」と呼ぶのか、ロボットには

どんな種類があるのか、産業用ロボットの生産日本一が山梨県であること、ロボットが生活の中でどのように活用されるのか、視覚障害者を誘導するロボットの開発についてなど、多くの内容について教えていただきました。ロボットが私たちの生活の中で活躍していることを改めて知り、今後の可能性について思いを巡らすきっかけになったのではないのでしょうか。

## 甲陵高校のキャリアトーク 9月19日

甲陵高校では、毎年、甲陵高校の卒業生で様々な職業に就いている方をお招きし、キャリアトークを行っています。職業について知り、将来の進路選択に役立てることや、目標に向かって学習することの大切さについて学ぶことを目的にしています。主に高校生向けの行事ですが、中学生も希望者は参加できることになりましたので、呼びかけを行ったところ、若干名の参加がありました。今年はコロナのこともあり、講師は主に県内在住の方に絞ったそうですが、様々な職種の



15講座に、真剣に耳を傾ける中高生の姿がありました。将来の職業について考えている人もいますが、まだまだ皆さんになじみのない職業も世の中には多いと思います。視野を広げ、多くの職業について知り、どのような大人になることを目指すのか、生徒の皆さんには考え続けてほしいものです。

## 10/13 PTA教養部主催の講演会にぜひお出かけ下さい

すでに、お知らせをしているところですが、10月13日（火）は、2・3年生の自由参観日になっています。密を避けるために事前に参観する時間帯（午前中）を申し込んでいただいています。3年生はこの日に「思春期講座」を計画しています。本来この講座には保護者の方に参加を呼びかけるのですが、今回は生徒のみで行うことになりました。2年生の保護者の皆さまは14:30から「修学旅行説明会」にぜひご参加下さい。修学旅行は3月に延期していますが、コロナ禍の中の旅行予定については何かとご心配もあると思います。現時点での情報をお伝えしたいと思います。そして15:30からは、全学年の保護者対象に「教育講演会」を開催します。講師は県立大学の坂本玲子先生です。思春期の子どもたちの子育てについて、大切な助言がいただける内容になっています。ぜひ参加していただけますようお願いします。